

令和3年度 国、北海道及び夕張市の三者協議 の概要

1 協議の要旨

全国唯一の財政再生団体である夕張市は、平成21年度に策定した財政再生計画を、平成28年度末に抜本的な見直しを行い、財政再建と地域再生の両立を図るべく取り組んでいるところ。

2年ぶりの開催となった今年度の三者協議においては、次のとおり、現状と課題を三者で共有するとともに、引き続き三者の連携を密にした上で対応していくことを確認した。

2 協議内容

(1) 財政再生計画抜本的見直し登載事業の進捗報告

- ・新型コロナウイルスの影響もあり、事業効果が見えづらい状況ではあるが、各事業が概ね着実に実施されていることを確認した。
- ・今後も、地域再生に資するよう、効果的に事業を進めていくことを確認した。

(2) 夕張市石炭博物館模擬坑道の再開に向けて

- ・夕張市民の貴重な財産である模擬坑道の重要性と早期復旧の必要性について、改めて三者で共有した。
- ・財源確保に取り組みつつ、随時情報を共有しながら、R4年度における改修事業の実施及びR5年度における早期再開を目指していくことを確認した。

(3) 大型企業の撤退等対策について

- ・市の重要な観光の柱であるスキー場の早期再開に向けて関係者に働きかけていくとともに、離職者対策や後継企業探しについて、夕張市と関係機関が連携して粘り強く進めていくことを確認した。
- ・財政再生と地域再生の両立に向けた取組が着実に進むよう、引き続き三者で連携しながら対応していくことを確認した。